

よねざわ

市議会だより

Yonezawa City Council

THE YONEZAWA

BRAND

米 沢 ブランド

NO.3 「米 沢 鯉」





12月定例会

4日～21日

議案22件を 原案のとおり可決

平成29年12月定例会は、4日から21日までの18日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、承認案件1件を承認、議案15件と請願1件を所管の委員会にそれぞれ付託しました。

6日、7日、8日には、14名の議員による一般質問が行われました。

11日には本会議を開き、追加議案7件を上程し、所管の委員会にそれぞれ付託しました。

12日には総務文教常任委員会、13日には民生常任委員会、14日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願の審査を行いました。

15日には、予算特別委員会を開き、補正予算案件8件について審査を行いました。

最終日の21日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案22件をすべて原案のとおり可決し、請願1件については、不採択となりました。

また、議員発議による「犯罪被害者等の保護を求める意見書の提出について」の1件を可決しました。

最後に、議員派遣について了承し、12月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市営体育館等の指定管理者の指定について

本案は、米沢市営体育館等の管理を行わせる指定管理者について、平成30年度から5年間指定しようとするものです。

〔委員〕公共施設のインターネットを利用した予約システムの導入を指定管理者から提案された場合の対応はどうか。

〔総合政策課長〕指定管理者からの提案であれば、導入していたかどうかは問題ないと考えています。ただし、このたび現在の指定管理者への聞き取りを行ったところ、予約に際し、具体的に施設利用の内容を確認しないと予約を受け付けられない施設や、高齢者の利用が多いためシステムでの予約があまり見込めない施設があるという回答がありました。また、事務量についても、

電話での予約と予約システムの両方であればなかなか減らないとの現在の指定管理者の意見があり、さらに、予約システムの導入及び運用の経費が相当な額となるため、費用対効果の面で難しい面があります。

▼市有財産（元自動車練習場用地）の処分について

本案は、元自動車練習場用地5848平方メートル余を、東京都足立区新田三丁目10番6号株式会社大岸製作所代表取締役島海桂一に2169万8936円で売却しようとするものです。

〔委員〕本市の所有地に隣接し、先に売買のあった県所有の土地の面積当たりの単価との比較は。

〔管財主幹〕隣接する県有地は、昨年11月に一般競争入札でこの度の処分相手方が落札していますが、処分単価は、その際の公表単価と同額に設定したものです。

▼米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について

本案は、山形県人事委員会勧告に準じ、一般職の職員の勤勉手当の支給割合の変更に

び子に係る扶養手当の月額の改定をしようとするものです。

〔委員〕県人事委員会の調査対象事業所は。

〔総務課長〕県人事委員会では、人事院と共同で、企業規模50人以上かつ事業所規模50人以上の県内民間事業所530のうち無作為抽出された148事業所を対象に調査を行っています。

民生

▼米沢市窪田児童センター及び米沢市上郷児童センターの指定管理者の指定について

本案は、当該施設の指定管理者を、平成30年度から5年間指定するものです。

〔委員〕両施設の修繕や建てかえをどう考えているのか。

〔こども課長〕年次的に必要な部分を補修しています。なお、両施設とも建てかえは大分先になると考えられます。

〔委員〕開館時間は利用者の実態に合わせて設定しているのか。

〔こども課長〕開館時間は規則で定めています。なお、時間外に利用したいという要望

は承っておりませんが、そのニーズが多いのであれば規則の改正を検討する必要があると考えます。

◎採決にあたって（意見）

（委員）上郷児童センターで実施している学童保育について、上郷小学校旧浅川分校区の児童が利用しやすい環境とするよう申し添え賛成する。

▼福島原発事故避難者への「住宅無償提供の再開」を求める意見書提出方請願

本請願は、福島原発事故に伴う自主避難者への住宅支援が終了したことから、その再開を求める意見書を国・福島県に対し提出するよう求めるものです。

（委員）市当局は住宅支援についてどのように考えているか。また、ほかに支援として考えているものはあるか。

（危機管理主幹）国・山形県に対して避難者における住宅支援を要望しているとともに、避難者が市営住宅への入居を希望したときは、それに応じられるよう相談体制をとっています。そのほか、避難者の相談に応じられるよう体制を整えていきます。

（委員）本市への避難者数は、ピークとなった平成23年11月17日に3895人を数え

たが、6年たった平成29年11月上旬には470人余りとなった。このことを参考人はどのように捉えるか。

（参考人）避難者それぞれに

「安全に対する考え方」に違いがあります。これは政治的信条ではなく知識の量によって差が生じるもので、これによって帰るかどうかの判断が分かれると考えます。また、各避難者は家庭の問題・経済の問題・コミュニティの問題を抱えています。これらが複雑に絡み合い、そのような数字にあらわれているのではないかと思っています。

（委員）避難者は経済的な事情その他の問題で苦労しているということだが、具体的にどのような状況か。

（参考人）妻と子は避難し夫は自宅に残るといった二重生活のため家計の費用負担が重くなっている例、いずれは帰還するため避難元の自宅の維持費を払い続けている例、避難しても働く場所が限られている例などがあり、さまざまな事情が各避難者の生活をむしろんでいる状況です。

◎採決にあたって（意見）

（委員）本市への避難者数がピークに達してから6年の間に3400人を超える方々が

避難元に帰るなどしており、その方々のことも考えなければならぬ。また、国が一定期間支援し、延長されてきたことも踏まえ、本請願に反対する。

（委員）避難者は原発事故がなければ福島で生活していただろう。原発事故が起き、健康への不安から避難してきた人が多かった。福島県だけでなく190人を超す小児甲状腺がんの発症やその疑いが報告されているなど、まだまだ不安で帰れない、けれども生活が苦しくどうにかしてほしいというのが本請願の趣旨だ。国は避難者が避難先にとどまっている限りは支援をすべきであり、本請願に賛成する。

産業建設

▼市有財産（道の駅米沢販売管理システム機器一式）の取得について

本案は、道の駅米沢を設置することに伴い、施設内で使用する販売管理システム機器一式について、公募型プロポーザル方式による選考を行った結果、山形市松波一丁目4番16号東芝テック株式会社山形営業所所長梅原俊一郎

を契約決定者とし、2138万4千円で仮契約を締結したため、本契約を締結しようとするものです。

（委員）今後想定される消費税増税に対応するための販売管理システムの改修経費はだれが負担するのか。

（商工課長）販売管理システム機器の維持管理の経費については、全て指定管理者が負担することとしているため、販売管理システムの改修経費についても指定管理者が行うものと考えています。

（委員）販売管理システムの導入後に発生した不具合等への対応は。

（商工課長）機器の保守点検やシステム上の不具合等のメンテナンスは、指定管理者の負担によるサポート体制の中で対応するものです。

（委員）契約金額の妥当性は。

（商工課長）公募型プロポーザル方式により価格はもとより、指定管理者やお客様の利便性などのさまざまな視点を含めて、システムを構成しなければならぬことから、総合的に評価を行い決定したものです。

▼米沢市新道の駅新設建築工事請負契約の一部変更について

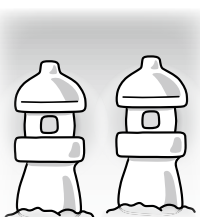
本案は、平成29年6月定例会で契約の一部を変更する議決があり、現在施工している米沢市新道の駅新設建築工事について、内部仕上げの一部変更により、契約金額を4億2035万3280円から4億2295万3920円に増額し、契約を変更しようとするものです。

（委員）建築工事の完成検査が3月下旬であり、販売管理システム等の搬入が2月のようであるが、販売管理システムの稼働準備や操作研修等について影響はないのか。

（商工課長）データ入力などの準備作業は別の場所で行い、完成検査後に施設内でオペレーション研修等を行って開業に備えていく予定です。

（委員）道の駅米沢に関係する全ての工事はオープン前に完了するのか。

（土木課長）芝の養生を除き、今後発注する別の外構工事も含めて、オープン時には工事が完了するよう努力していきます。





明誠会
めいせいかい

島貫 宏幸 議員
しまぬき ひろゆき

地方独立行政法人へ移行するメリットと新病院建てかえの立地条件は

医療連携のあり方に関する意見書で、市立病院と三友堂病院との連携については、地域医療連携推進法人の枠組みを軸に、市立病院が急性期医療、三友堂病院は回復期医療をそれぞれが役割分担すると

されている。市立病院は、地方独立行政法人、指定管理者及び民営化の経営形態について制度比較をした上で、地方独立行政法人が現実的な選択肢であるとされている。その最大のメリットは何か。

意思決定が可能となり、機動性のある効率的な事業運営が期待できます。また、組織の経営状況と職員の利益が一致することから、経営改善に対する職員の意識が高まり、より経営改善を進めやすい体制を整えることができます。建てかえの際の立地条件をどのように考えているのか。

候補地は、現地も含め調整中です。医療連携のあり方に関する意見書で、平成35年度までに開院できるよう進めていくこととされたことから、遅らせることなく確保できる土地であること、また、駐車場を含め病院としての機能が發揮できる用地面積であり、公共交通網が整備され、利便性が高い場所であることなどが条件であると考えています。



▲地方独立行政法人に移行を予定している市立病院



市民平和クラブ
しみんへいわ

太田 克典 議員
おおた かつのり

主要農作物種子法の廃止による本市農業などへの影響は

主食の米などの品種改良や安定供給に都道府県が責任を負った主要農作物種子法が、廃止されることになった。本市農業などへの影響は。

公共交通について、前橋市の取組みから何を学ぶべきか

では責任を持って育種・普及促進を図っていくとしています。このため、当面は大きな影響はないと考えています。前橋市の「マイタク制度」は、運転免許証自主返納者や、75歳以上の方、65歳以上で運転免許証を持っていない



▲主要農作物種子法（いわゆる種子法）廃止の影響は

方、障害者、要介護・要支援認定者、妊産婦などを対象としている。また、乗降車地の一方が前橋市内であれば対象となる。こうした手厚い制度を目標にしてはどうか。

前橋市のように、公共交通マスタープランを策定する考えはないか。

【企画調整部長】中長期計画の策定は重要ですが、まずは民間事業者と連携しながら、持続可能な公共交通体系の実現を進めていく必要があると考えています。

空き家対策の課題は何か

所有者不明の空き家について、積極的に相続人調査を行うべきだと思うがどうか。

【建設部長】今後、税務課等と連携した早急な調査、行政書士、司法書士等に協力依頼するなどして、緊急を要する空き家から優先的に進めたいと考えています。

いわゆる空き家予備軍について、例えば耕作放棄地や空き家になりそだという場合、相談窓口はどこになるか。

【建設部長】空き家の相談につきましては建設部都市整備課に総合窓口を設置し、各種相談を受け付けています。



日本共産党市議員
たかはし ひろゆき

高橋 壽 議員

市政と市民生活をデジタル映像で保存し市史などに活用を

本市の市政、市民生活を従来の文字記録での保存と同時にデジタル映像で市史として保存し、観光、教育など行政に活用できないか。

〔教育長〕現在、米沢市視聴覚研究員の提案により、視聴覚教材収集の一環としてデジ

タル画像、映像を撮影し、保管する「米沢の今を未来に伝える事業」を検討しているところだ。

〔企画調整部長〕市史の編さんへの活用という点では、映像で残しておくことは重要なことと考えます。地元のケーブルテレビのほうで良い状態で保管されていますので、それを活用させていただくなど、

方法については検討していきたいと思えます。

平成30年度の国保税と介護保険料はどうなる

4月から国保財政は県に移行する。先ごろ、県は平成30年度の納付金の仮試算額を示したが、これによると本市の国保税はどうなるのか。

また、介護保険では、4月からこう3年間の第7期介護保険事業計画が始まるが、保険料などはどうなるのか。

〔市民環境部長〕現在、県から示された仮の納付金額をもとに、今後の国保税率を検討

く、手軽に検索しやすいように改善したいと考えています。

市民参加型の総合的な除排雪システムを構築できないか。

〔建設部長〕除雪車の出勤状況等、運行管理システムを本格的に導入しないと情報揭示ができない部分もあり、課題も多く、現段階での導入は難しいと考えています。

温泉資源を利用して健康づくりに取り組んではどうか

景観も泉質もおもてなしも申し分のない温泉の「米沢八

しているところだ。現時点の推計では、少なくとも平成30年度の国保税率引き上げは必要ないものと考えています。



湯」がある。医療機関と旅館が連携し、生活習慣病を気遣っている方々を対象に、2泊3日程程度の宿泊プランや湯治の風習を利用した温泉療養プランを提供してはどうか。

〔健康福祉部長〕市としてのシステム構築の導入費用を考えれば、費用対効果の問題や市全体の優先順位も考えなければならぬ状況です。

山形県に25人しかいない温泉療養法の一人でもある病院事業管理者の考えはどうか。

〔病院事業管理者〕環境省が中心となり、厚生労働省や観光庁等と連携し、温泉地の活

なお、介護保険料については、国が介護報酬改定を確定した後、2月下旬の介護保険運営協議会に諮り決定し、3月定例会で審議していただく考えです。

※注

市議会だより11月1日号「学童保育の公設化」の質問及び答弁内容の記事と、掲載写真の学童保育所は直接関係ありませんので訂正いたします。

性化に取り組むことになっていきます。

今後、この事業で提案される温泉地活性化のアイデアを、本市に生かせるように努力したいと考えています。



▲「米沢八湯」のひとつ

市民サービス向上に、もっとICTを活用してはどうか

認知症になっても安心して住み続けることのできる米沢市を目指すため、ICTを活用し、認知症見守りネットワークをさらに充実させてはどうか。

〔健康福祉部長〕いざという時に迅速につながり動くネッ

トワークが構築されるよう、今後も情報収集を行い、必要な支援策を検討します。

子育て中のご家庭に、子育て情報・制度・サービス等を掲載し、積極的な情報発信を行う「子育てポータルサイト」を開設してはどうか。

〔健康福祉部長〕子育てポータルサイトの開設に向けて、ホームページをさらに見やす

いっしんかい
一新会

齋藤千恵子 議員



いっしんかい
一新会

海老名 悟 議員

中心市街地の将来ビジョンは

旧ポポロビルに関する覚書が白紙化された経緯と原因はどのようなものか。

〔企画調整部長〕 覚書を締結

してから5年が経過して西條天満公園が整備され、今後は市庁舎建てかえや市立病院整備、小中学校の新たな整備事業などが控えており、財政状

況も勘案した結果、土地所有者に白紙化を願いました。

当該ビル用地の今後の活用についてどう考えているのか。

〔企画調整部長〕 土地所有者

へ民間での活用をお願いしており、市として連携・支援できるものであれば検討したいと考えています。

市長は中心市街地の将来に



▲中心市街地の様子

ついでどのようなビジョンを持っているのか。

〔市長〕 中心市街地活性化は行政のみでできるものではありませんので、県や関係団体、経済界も含めて連携を強めてビジョンを策定していきたいと考えています。

観光振興の有効な手法は

東北中央自動車道米沢北ICと福島大笹生IC間の開通による効果をどう捉えているか。

〔産業部長〕 おまつり広場駐車場の駐車台数が11%増加し、上杉博物館や温泉地への日帰り入浴も増え、飲食店への来客数も増加しています。

旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」は、本市の観光振興上、有用なアイテムになると思うが、市当局はどう考えているか。

〔産業部長〕 欧米の方はこのミシュランガイドなどの旅行ガイドブックの情報をもとに旅行先を決める傾向があることから、欧米系の旅行者を呼び込むためには大変有効であると考えています。

当該ガイドブックに本市を載せる手法についてどう考えているのか。

〔産業部長〕 ミシュランガイドの掲載基準に該当させることを重視して、受入れ体制を整備しながら発行者に対するアピール等もしていきたいと考えています。

いっしんかい
一新会

鈴木 藤英 議員

次世代につながる中山間地の環境整備を進めるには

農地保全と有害鳥獣対策の今後の施策と、その方向性はどうか。

〔産業部長〕 農業の担い手不

足、集落営農の実施や周辺地域との連携など、いずれの課題解決においても地域の話し合いは重要であり、市も引き続き積極的に参加していきま

す。

有害鳥獣対策では、地域の主体的な取組みを推進するため、猟友会の会員が中心だった鳥獣対策実施隊員に、各地区からも多数加わっていただき、追い払いや環境整備を進めていきます。

林業再生に向けた森林整備の現状と課題について、本市の認識はどうか。

〔産業部長〕 国は、林業の成長産業化を実現するために「林地台帳制度」を新たに創設しました。本市も林地台帳を整備することにより、所有者などの情報が一元化され、所有者や境界の特定が進めば森林施業の集約化が図りやすくなると考えています。

山間地の神社仏閣等に保存されている歴史的文化財の保護をどのように進めるのか。

〔教育長〕 神社等について、地域の文化財として再認識することを目的に、平成17年度から各地区で郷土資料調査を行っています。その調査報告

書は市立図書館で閲覧でき、各地区で活用されています。地域の文化財の保存継承に文化財団等の助成制度を活用することも可能であり、市としても制度等に対する相談、助言、指導など、側面的な支援を継続していきます。

地域住民の共通した意識を結束し、各分野で横断的な取り組みが必要ではないか。

〔企画調整部長〕 市内の各地域には個々の歴史や文化があり、課題も違ってきます。地域住民みずからがまずは話し合っていただき、それぞれが取り組む方向に、市が各コ



▲三沢地区での元気な地域づくりプロジェクト開催の様子



いのしんかい
一新会

みながわ まさき
皆川真紀子 議員

杉の植林により社会問題となっている杉花粉症への対策は

国の政策で昭和四〇年代に杉が植えられた。市としての問題意識を問う。

〔産業部長〕近年、全国では花粉が少ない杉を植林する動きがあります。県との連携を密にしなが、少花粉杉の植林を検討していきます。

新庁舎敷地内に、職員用、市民用の喫煙所2カ所は必要か

職務専念義務がある中、たばこ休憩による損失額も試算されている。認識はどうか。

〔総務部長〕必ずしもその数値が損失とは考えていません。

防災の観点から言えば、喫煙所がなければ、たばこが出



さくらだもん
櫻田門

やまむら
山村 明 議員

本市の公共施設のあり方はこれで良いのか

図書館建設では、総工費も増え工期も大きく延びた。また、(仮称)南西中学校・市立病院・屋内遊戯施設は、計画が頓挫しているように市民には見えていると思うが、今後の対応をどう考えているのか。

〔企画調整部長〕(仮称)南西中学校については、現在「適正規模・適正配置等基本計画」の見直しをしており、計画の決定後、建設に向けた検討をしていきます。

市立病院は三友堂病院との医療連携の協議が整い、平成30年からは建てかえに向けての具体的な検討に入ります。

〔健康福祉部長〕屋内遊戯施設は、今後実施される公共施設の建てかえ事業等も考慮して検討しています。

火原因の火災リスクはゼロにできるのではないのか。

〔総務部長〕周りが燃えるものでない場合、出火原因になることは少ないと思います。

受動喫煙防止宣言をしている本市だが、実施状況は置賜三市五町中最下位だ。敷地内禁煙でなければ受動喫煙は防げないと市民健康づくり運動計画にも載せている。その上で喫煙所設置を考えるのか。

〔総務部長〕市民、あるいは職員が入りする出入口から一定程度距離を置いて喫煙場所を設け、さらに、そこにフィルター等の換気装置を備

設は、今後実施される公共施設の建てかえ事業等も考慮して検討しています。

本市の公共施設の計画が右往左往しているようにしか見えない。行政運営に一本の芯が通っていない感じを受けるがどうか。

〔企画調整部長〕これまで「まちづくり総合計画」の中では重要度・優先度を決めてきましたが、財政負担を考慮した公共施設建設を検討する視点は少なかつたと思います。そのため、国の方針に基づいて「公共施設等総合管理計画」を立て、財政負担や必要性な

えれば、たばこの被煙リスクは低下できると思います。

市長は、庁舎敷地内を禁煙にした県内4人の首長決断をどう評価するか。

〔市長〕立派な決断だと思います。



東北中央自動車道の関連施設は機能しているのか

どを一つひとつ検討しながら、今は確実に進んでいます。

「道の駅米沢」の開業予定は4月20日になっている。もっと早くオープンできないか。

また、米沢市区間のトイレの設置はどうなっているのか。

〔産業部長〕農林水産省の交付金事業を活用して工事を行うため、交付金決定後に着手する制約に加え、本体工事も12カ月を要するため、開業を

家庭排水が直接河川に流れている環境問題を問う

高度処理型浄化槽を市で設置してはどうか。

〔上下水道部長〕個人設置型補助制度を継続していきたいと考えています。

現在の高齢者運転免許自主返納支援事業の内容は平等か

幅広く支援してはどうか。

〔市民環境部長〕民間バスの回数券やタクシークーポン券などを検討しています。

平成30年春として進めてきました。

〔建設部長〕トイレについては、無料区間のため各ICからの乗り降りによって休憩施設等を御利用いただく形式です。



▲建設中の「道の駅米沢」



明誠会
あいた
めいせい

相田 克平 議員

今後の中心市街地の活性化
についてどう考えているか

市関連施設の相次ぐ撤退が地元の心を折り、平和通商店街の組合が解散した。老朽化したアーケードの撤去も困難な状況にある。都市計画による土地利用制限が代謝を阻害する要因になっている。民間活力を引き出し、活性化を図

るために必要なことは何か。

〔市長〕 中心市街地活性化基本計画の国の認定をいただく方法がありますが、民間事業が一定数無いと認定は難しいとの回答を内閣府よりいただいています。そのような中で国において、街づくり全体の観点から、居住機能や社会福祉・医療・商業等の都市機能の誘導や公共交通充実に関す



日本共産党市議員団
たかはし
ひでお

高橋 英夫 議員

中川市長誕生から2年経過したがどう総括しているか

選挙出馬の際、どのような市政運営や改革をイメージしていたか。

〔市長〕 市の財政は厳しい状況にあり、少子高齢化が進み人口が減少し、米沢から明るさや元気がなくなってしまうような感じでした。この閉

塞感を打開し持続可能な「明るく元気なまち米沢」をつくり上げたいと考えていました。公約はどう実現しているか。

〔市長〕 市長任期を2期8年とすることについては、条例を制定し、国・県・周辺市町との関係改善については、国から副市長を招聘し県との人

る施策等を定める立地適正化計画制度が創設されました。本市でも来年度から同計画の策定に向けた取り組みを進め、中心市街地活性化についても検討したいと考えています。

中心街に何を集約していくか議論した上で、再開発や都市計画道路の実現等、周辺の活性・代謝が進むような取組みを早急に始めなければ、まちなかで事業を続けている事業者はもたない。どれ位の時間軸を考えているか。

〔市長〕 立地適正化計画の中で、取り組めるところから取

り組んでいきます。まず元籠町通り東側の交差点からナセBAまでの一方通行の解除を今検討しており、平和通りについてもいただいているさまざまなご提案を精査し、新年度の中でその時期について大体の目安を立てたいと思っています。

立地適正化計画で誘導して整備する都市機能の位置づけになると、国の支援の枠は広がる。新病院も立地適正化計画の中で拠点施設として整備すべきでないか。

〔病院事務局長〕 今まで公立病院の建設に関しては、交付

しました。若手・女性の積極登用については、人事異動の際に積極的検討を進めており、女性の役付き職員数が増えている状況です。

市長打ち出しの新規事業の進捗状況はどうか。

〔市長〕 置賜三市五町の枠組みによる定住自立圏構想の推進については、今後、各市町の担当課も含めたワーキンググループを開催し、年度内に中心市宣言を行うことを目指しています。市立病院と三友堂病院との医療連携については、地域医療を守る方向性が明らかに、今後は市立病



▲一方通行の解除が検討されている通りを元籠町通り東側交差点から望む



▲ブランド推進室と市民グループとのワークショップの様子

院の建てかえに向け検討を進めます。健康長寿日本一については、12月3日に講演会を開催しましたが、今後、プロジェクトチームで具体的施策の検討を進めます。

税措置等限られた支援しかありませんでした。立地適正化計画の補助制度等も念頭に置きながら、建てかえ場所等についても検討していくべきと思っています。



市民平和クラブ

我妻 徳雄 議員

地方独立行政法人化への経営形態の変更は必要か

米沢市医療連携あり方に関する意見書では、「市立病院は、経営の健全化、経営基盤の強化を図るため地方独立行政法人米沢市民病院（仮称）への移行を進めていく」としている。しかし、地方独立行政法人は評価委員会の設置、

中期計画等の策定など、業務・コストの増が予想される。また、現行経営形態での再編後の経営シミュレーションでも、経営を維持・継続できるとしている。どうして経営形態の変更が必要なのか。

〔市立病院事業管理者〕地方独立行政法人のもとでは、中期計画という大枠内での予算の執行が可能となることや、



▲経営形態の変更を進めている市立病院

人事や組織などの面で迅速な意思決定が可能となり、機動性のある効率的な事業運営が期待できます。また、弾力的な給与体系の構築が可能とな

猿の群れ単位での管理を

り、経営改善に対する職員の意識が高まることなど、経営改善を進めやすい体制を整えることができます。

〔市立病院事務局長〕事務量は増えますが、それ以上に、地方独立行政法人化することによって経営の健全化や経営基盤の強化などの効果を期待しています。

と、群れ単位での個体管理を図り猿被害を無くす成果をあげた。伊賀市の取り組みを参考に、対策を実施してはどうか。

〔産業部長〕本市には、16群765頭の猿が生息しています。伊賀市では、地域住民、猟友会、行政の役割分担を明確にし、地域が主体的に取り組みを実施しています。

本市でも、伊賀市が猿対策で行った大型おりによる群れの一斉捕獲の可能性について検討していきます。

公明クラブ

山田 富佐子 議員



押雪軽減を確実にするために

高齢者世帯の増加により、押雪軽減の申請者も増加すると考えられる。申請世帯が2、3軒続く場合、押雪軽減効果を上げる方法として、雪ごぼれを防止できるシャッターブレード板（遮蔽板）を導入してはどうか。

〔建設部長〕押雪軽減の効果

を高めるために、申請者や町内会の理解をいただくよう努めています。シャッターブレード装着機械は交付金対象となるため、更新購入時に導入について検討していきます。

押雪軽減は、車庫、空き家、アパート等の集合住宅を除く高齢者世帯前と限定されている。心臓疾患で、唯一の交通手段が自家用車の場合、車庫



▲押雪軽減効果を上げる除雪を

前の押雪軽減はできないか。

〔建設部長〕個別対応は難しい状況にあります。

ロタウィルスワクチンの公費助成ができない理由は

9月の質問では、任意接種のため安全の確保と不慮の事故発生時の補償等を考慮し、定期接種になった場合には対応するとの答弁だった。本市は、全国市長会予防接種事故賠償補償保険制度に加入しているか。また、県内で実施している寒河江・天童・東根市の副反応の状況はどうか。

〔健康福祉部長〕予防接種を実施する場合、問題発生時に補償する保険として加入しています。3市では副反応の報告はありません。国の動向を待って安全を十分確認したうえで実施していく考えです。

本市の健康課題は

本市の健康課題の現状をどのように捉えているか。

〔市民環境部長〕男女とも糖尿病一人当たりの医療費が県内35の国民健康保険者の中で5番目に高い状況です。高血圧疾患や糖尿病発症の抑制と重症化を予防し、人工透析患者を減らすことが医療費適正化に寄与すると考えます。

〔健康福祉部長〕医師会と連携し、新規特定健診受診者を増やす必要があると考えます。



さくらだもん
櫻田 門

工藤 正雄
議員

雪対策担当の効果と雪道の交通安全対策はどうか

土木課に雪対策担当ができて2年目だが、改善効果は出たのか。

〔建設部長〕1年を通して除雪対策に専念できる環境であり、要望の分析や委託業者と路線状況の検証を行う等、担当設置は有効と捉えています。

押雪が積まれ見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置することや、交差点の排雪を専門に委託することで、交通安全の確保ができないか。

〔建設部長〕カーブミラーの設置は、事故が懸念される交差点について関係所管と協議検討します。また、主要交差点の排雪はその路線の委託業者に依頼していますが、提案

の内容について検討します。

米沢そばの普及とブランド化

生産者の畑地栽培を推進し、そば店の仕入れ価格の負担を支援することはできないか。

〔産業部長〕差額補助など経常的な支援は考えていません。一方、地元産のそば粉を使い多くの来訪者を呼び込むことも重要であり、地域内での消費拡大を検討していきます。

米沢産「でわかおり」は県外でも評価されている。市民にもおいしさを知ってもらい、ブランド化を図ってはどうか。

〔地方創生参事〕個別製品のブランド化の基準、運用方法は、それぞれの企業・団体等が実態に応じて自主的に設定、実施していく必要があり、戦略会議等で議論していただきます。

寿山荘の廃止後の計画は

来年度から民間への委託事業が始まるが、今まで同様のサービスを受けられるのか。また、廃止後の跡地等の対応はどのように考えているか。

〔健康福祉部長〕実施日や入浴回数等を現在協議しています。源泉は契約を終了し、舟



▲50年間市民に利用された老人福祉センター

山貞斎氏の銅像は移設場所を検討中です。施設解体後の跡地の利用については、土地をご寄贈いただいた方に説明申し上げておりますが、具体的にはまだ決まっています。



しみんへいわ
市民平和クラブ

小久保 広文
議員

公共交通網の整備が必要

本市のこれからを担う高校生に、米沢市に住んでよかったと感じてもらうためにも、冬期間の通学手段を確保する必要がありますがどうするか。

〔企画調整部長〕毎年冬期間の朝の通学時間帯に、各高校付近で送迎に伴う渋滞が起きています。公共交通が果たし

得る、よりスムーズな通学環境の実現に向け、民間事業者への要望なども含めて引き続き努力したいと考えています。

地方公共団体が中心となり、地域戦略の一環として持続可能な公共交通ネットワークの形成を進める必要がある。それには、公共交通を「線」ではなく、交通「網」として



▲近江八幡市で運行されている市民バス「あかこんバス」

の整備が必要であるため、地域公共交通網形成計画を策定してはどうか。

〔企画調整部長〕計画が有効

手話言語条例を制定すべき

に機能すれば、本市の公共交通環境が改善し、多くの市民の利便性向上に資するものと考えますが、計画策定の検討に当たっては、前段に将来へ向けた市全体のまちづくりの考え方の整理、既存の民間交通事業者との調整など課題が多くあります。

まずは、本市の公共交通の方向性などを民間事業者や関係者と話し合いを進めたいと考えています。

本市議会では平成26年6月定例会で、手話言語法の制定

を求める意見書を採用し、平成28年3月現在、全自治体が見解書を採用している。また、平成29年12月6日現在、手話言語条例の制定自治体は、13県、85市、11町の109自治体に上っている。

本市も聴覚障がい者の要望に応じて条例を制定すべきと考えられています。

〔健康福祉部長〕今後、制定予定の障がい者の差別解消に関する条例に、手話の普及や聴覚障がいのある方とない方の共生社会の実現に関する事項を包含する方向で検討したいと考えています。

予算特別委員会

12月15日に開かれた予算特別委員会から

質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕小野川スキー場活用支援事業補助金について、NPOから提出された事業計画書の中にリフト等の修繕費が計上されているとの報告があったが、その修繕工事は終了しているのか。また、今回の補助金に、その修繕工事費用は含まれるのか。リフト修繕の件も含め、補助団体の予算の執行状況と修繕工事の進捗などについて、きちんとやり取りをすべきと考えるがどうか。

〔地域振興主幹〕索道については、今、メーカーが点検を行っており、その結果を受けてこれから修繕されると思いますが、施設の修繕につきましては、貸借契約上、市にその負担を求めないということになっていきます。施設の安全性については、修繕完了後に報告をいただくことになっていきますので、市としてもしっかりと確認をしたいと考えています。

〔委員〕市長は選挙公約として「少子化対策条例」を作るとしてきたが、その意図は何か。急激な少子化を受け、来年度の予算編成に向けて、少子化対策に軸足をかけていくことが必要ではないか。

〔市長〕少子化対策については、個別対応で、子育て支援医療費無償化等を行っていますが、まだまだ行政として行っていかなければならないものがあります。本市としては、「健康長寿日本一」を掲げていることから、子どもから高齢者までの全ての年代において、市の施策はどうあるべきかを検討し、そのような中で少子化対策の基本条例的なものも検討していきたいと考えています。

〔委員〕今定例会でも企業誘致に伴う市有地の売却が提案されている。東北中央自動車道の開通も立地の要因であると思うが、企業誘致は、地道

に足を運んで、信頼関係を培うことで成果につながるかと考える。市長には首都圏やその他の企業にも足を運んでいただき、企業誘致を進めてほしいがどうか。

〔商工課長〕委員からの話も含め企業誘致に力を尽くしていきたいと考えています。

〔委員〕今回の上杉雪灯籠まつりは三日間開催されるが、高速道路を利用した場合のPRが必要なのではないか。また、基本的に駐車場のキャパシティが足りないの、特に会場周辺の駐車場の確保について、民間へ協力を依頼するなど、従来以上の対策を検討していただきたいがどうか。

〔観光課長〕高速道路利用者への案内については、直前チラシやウェブサイトなどで駐車場に誘導できるようにします。駐車場については、総合公園を利用するほか、民間駐車場の借用の検討等、駐車場の確保については十分検討したいと考えています。

〔委員〕体育施設の整備に関して、各団体から要望書等も出されていると思うが、スポーツの推進や健康長寿日本一を目指して市民意識の向上を

図っていく中で、十分な対応がなされているとは感じられない。今後本県で開催される大型の各種大会において、施設面からの理由で本市で受け入れられないとなれば、経済的な損失にもなる。スポーツ推進計画でもスポーツ振興くじ助成等（TOTTO）を活用しながら施設整備を行っていくこととしているが、今後の対応はどうか。

〔体育主幹〕大規模な修繕については、多額の予算が必要になるとともに、工期の関係で、競技ができない期間も生じることとなりますが、数年先まで予定されている各種大会もあることから計画的に修繕を実施していきたいと考えています。TOTTOの申込みについては、市営プールの高飛び込みのボードが該当し助成をいただきましたが、それ以降は要件に合致するものがなく、申請をしておりません。

〔委員〕ふるさと納税について、返礼品のパソコンを取りやめたことによる現状と今後の見込みはどうか。総務省でもこの寄附金制度を活用したクラウドファンディング型の企業支援等で活用するようにポータルサイトで紹介して

いる。今後本市としては、例えば、大学生の学内ベンチャー企業の立ち上げに対する応援基金を作るとか、地元若者の起業の促進を図るなど、寄附金として財政に寄与することだけではなく、米沢で夢を見ることができるといった裾野を広げる対応をしていただきたいがどうか。

〔総合政策課長〕ふるさと納税については、総務省の通知を受け、7月末に返礼品のパソコンなどの家電製品や商品券類を取り下げ、9月末には返礼品の額の割合を5割から3割に見直したところですが。こうしたなか今年度11月末現在の寄附金額は、約15億円となっており、予算額の16億円は達成できるものと考えています。また、使途について、現在は、総合計画の柱に沿った「活力ある産業の町」や「教育文化の町」といったもの、他「山形大学工学部の支援」などにしていきます。総務省においても、使途について重視しており、今後市としてもそういう点について検討していくことが必要であると考えています。これからも、寄付者から本市を選んでいただけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

12月定例会で審議された議案等

議案番号	件名	結果
承第3号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認
議第65号	米沢市営体育館等の指定管理者の指定について	可決
議第66号	市有財産(元自動車練習場用地)の処分について	可決
議第67号	米沢市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決
議第68号	米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第69号	米沢市窪田児童センター及び米沢市上郷児童センターの指定管理者の指定について	可決
議第70号	米沢市すこやかセンターの指定管理者の指定について	可決
議第71号	道の駅米沢の指定管理者の指定について	可決
議第72号	市有財産(米沢オフィス・アルカディア用地)の処分について	可決
議第73号	市有財産(道の駅米沢販売管理システム機器一式)の取得について	可決
議第74号	米沢市新道の駅新設建築工事請負契約の一部変更について	可決
議第75号	米沢市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	結果
議第76号	米沢市市営住宅条例の一部改正について	可決
議第77号	平成29年度米沢市一般会計補正予算(第4号)	可決
議第78号	平成29年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決
議第79号	平成29年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算(第1号)	可決
議第80号	米沢市特別職の職員の給与に関する条例及び米沢市病院事業の管理者の給与等に関する条例の一部改正について	可決
議第81号	米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議第82号	平成29年度米沢市一般会計補正予算(第5号)	可決
議第83号	平成29年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決
議第84号	平成29年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号)	可決
議第85号	平成29年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可決
議第86号	平成29年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算(第2号)	可決

※ 請願・意見書提出にかかる発議の採決結果は、16頁に掲載しております。

議案等の賛否一覧表

◆ 12月定例会において賛否が分かれた議案等についてのみ掲載しています。

会派 議員名	採決 結果	櫻田門				公明 クラブ		日本共産党 市議団		一新会								市民平和 クラブ		明誠会					
		山村 明	工藤 正雄	堤 郁雄	佐藤 忠次	佐藤 弘司	山田富佐子	高橋 壽	高橋 英夫	齋藤千恵子	鈴木 藤英	皆川真紀子	成澤 和音	島海 隆太	相田 光昭	中村 圭介	海老名 悟	島軒 純一	小久保広信	太田 克典	我妻 徳雄	木村 芳浩	相田 克平	島貴 宏幸	小島 一
請願番号																									
請願第6号	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○	○

○＝賛成 ×＝反対 島軒 純一議長は採決に加わりません。

山形県市議会議長会主催議会報研修会に参加して

「伝わる記事をどう書くか」を学ぶ

編集委員 高橋 壽

11月9日、県市議会議長会主催の議会報研修会が長井市で開催されました。この研修会には、毎年、県内13市議会から議会報担当の議員と職員が参加しています。

米沢市議会からは、議会だより編集委員会6名のうち私のほか、我妻徳雄委員長、佐藤忠次委員の3名が参加、残る3名は来年度の研修会に参加することになっています。

講師は、山形新聞長井支社長。「伝わる文章。読んでもらえる議会報をめざそう」と題し、新聞記事の校正現場の経験から「伝わる文章」には何が必要か、を中心に講演がありました。

まず、記事の書き方の基本「5W1H」「重要なことは前に」「事実を淡々と書く」。

次に同じ内容と文字数でも、どう書くかで読者に伝わる、伝わらない記事になる。

「最大多数の読者の最大関心は、伝えるべき焦点は何かをまず判断する」。「逆三角形の記事を徹底せよ。重要なことを先に出し、経過的なこと、

説明などは次に」など「伝わる文章」をどう書くか、新聞記事を例に「見出し」の付け方など具体的な講演内容に学ぶ点が多かったです。

講師からは最後に、各議会の議会報をめくりながら、「読者が議会報で知りたいことは「議員が何を質問し、どう答弁したか」です。「議会だより」の役割、何のために発行しているのか、意識して紙面づくりをして欲しい」と注文と期待の言葉をいただきました。



▶ 議会報研修会の様子

総務文教常任委員会

(11/8/10)

大分県中津市では、九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョンとして、小児救急センター運営の財源を大分県、福岡県にまたがる圏域自治体で負担すること、コミュニティバスの共同運行などを中心とした定住自立圏構想について視察してきました。

大分県豊後高田市は、多様な移住・定住促進施策を全国に先駆けて取り組んでおります。移住者の生の意見をその後の施策決定に活用し、

産業建設常任委員会

(10/16/18)

高知県高知市では「新ショウガの生産振興について」学びました。

高知市は市北側の土佐山地域の生姜を利用したブランド開発を行っています。当日は、土佐山地域の農業振興の役割を担っている夢産地とさやま開発公社執行理事の大崎裕一氏にも同席いただき、有機栽培への取組み、生姜等の農産物を加工して付加価値を付けた商品の販売、販路の拡大などについて伺いました。

定住ガイドブックに移住者の知りたい情報を網羅するなどの事業を行っていること、メディアへの情報提供を適時適切に行い注目を集めている手法など、その施策について視察してきました。



▲豊後高田市の定住ガイドブック

大分県杵築市では、「住む」「働く」「暮らす」環境整備を行い、移住希望者向けにそれらの施策を網羅して紹介した冊子を作成し、配布して

愛媛県今治市では「今治タオルプロジェクトについて」学びました。

今治市は「今治市タオルプロジェクト」というブランド戦略を実施しています。当日は、なぜタオルだったのか、「今治タオルプロジェクト」に至るまでの流れ、ブランドマークの作成及び品質の向上等による他製品との差別化、知名度の向上のための取組みについて伺いました。

愛媛県砥部町では「砥部ブランドマークプロジェクトについて」学びました。

砥部町は砥部町を全国にP

いるほか、移住者のお試し滞在の移住体験プログラムを行い、実際に移住候補地を確かめる機会を提供しています。これらの移住・定住促進施策について視察してきました。

大分県別府市では、人口ビジョンで大幅な人口減少が予測される中、他地域からの転入促進が必要として、移住者支援事業を行っています。また、ケーブルテレビ局と協力し手作成した移住者インタビュー映像番組を別府市ホームページにリンクさせて活用するなどの取り組みについて視察してきました。

Rするためのデザインツールとしてブランドマークを作成しました。当日は、どのようなテーマでこのマークとしたのか、このマークが表すメッセージをどうするかなどのブランドマーク完成までの取組みや作成したブランドマークの活用について伺いました。



▶砥部町のブランドマーク

民生常任委員会

(10/17/19)

栃木県小山市では、慢性的な医師不足や赤字経営などから脱出しようとする小山市民病院を支援するため、シンポジウムや市民会議を開催して市民に地域医療のことを考えてもらったり、市民・市・医療機関・事業者がそれぞれ取り組むべきことを定めたりすることなどにより、限りある医療資源を地域全体で守り育て、支え合おうとしていました。

岐阜県下呂市の市立金山病院では、病院建てかえに当たり、当初策定した計画では金銭的負担が大きすぎるとして、その見直しや各種支援、関係者の取りまとめをNPO法人に委託し、「日本一ローコスト・高価値の病院」を目指して、設計業者や施工業者を募集し公開の場で選定しました。これらにより、建てかえに係る費用は当初計画の約3分の2に抑えられたとのことでした。

愛知県東海市は「生きがいがあり健康なまち」を目指しており、生活習慣に関する質問や健康診断の結果から市民一人一人に合った運動や食事

のアドバイスを判定、提供しており、さらに市民が主体的に健康づくりに取り組みやすくするため、市民の健康づくりを支援する運動施設や飲食店等を市で認定するなど、地域全体で市民の健康増進について取り組んでいました。

三重県桑名市では、民間病院との再編統合を経てつくられた桑名市総合医療センターの地方独立行政法人化への取り組みの経緯等について伺いました。地方独立行政法人化に伴う諸手続きや移行費用、また民間病院との統合の背景や現在建設が進められている総合医療センターの新病院整備などについて学びました。



桑名市での視察の様子▶



◀下呂市立金山病院

市議会を開催



▲「米沢をおもしろくする条例つくっぺ」のタイトルで出前市議会を開催しました。

平成28年6月から選挙権を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が施行されました。
現在の中学生は3年から5年後には有権者となり、政治を左右する大切な1票を投ずる立場になります。
米沢市議会では、中学生の時期から主権者としての自覚を醸成し、18歳を迎えた折には誰もが政治参加するような市民になってほしいとの願いから、議会広報広聴委員会が中心となり、中学校出前市議会を企画、実施してきました。
24名の議員が4つの班を作り、市内8校に出向き、創作した朗読劇を通して市議会の仕組みや議員の役割、政治参加の意味などについて中学生に伝えようというものです。

平成27年から取り組みが始まり、今回が3回目。毎回テーマを変えて朗読劇のシナリオを創作しております。今回のタイトルは「米沢をおもしろくする条例つくっぺ」。行政が行う業務の多くが、憲法、法律、条例に基づいています。が、条例については、議員発議という形で市民の意向を汲み上げ、作ることもできることをストーリーに織り込みました。
「一所懸命議員」の中学生の息子が修学旅行で東京巡りをした際に、歴史大好き・米沢の大ファンというバスガイドさんに出会い衝撃を受けます。自分たちが知らなかった米沢の歴史や偉人のことを熱く語られ、中学生たちは「米沢がそんなにすごい町だったとは！」と目を輝かせます。旅行から帰った息子はこの話を議員である父に伝え、米沢が素晴らしい歴史の町であることを市民みんなが共有することはできないか、と訴えます。
議員は平成26年の9月議会で議決した「おもしろい乾杯条例」のことを思い出し、これに続く議員発議の条例として「米沢の誇りを語ろう



▲議会や市政等について、いろいろな質問がありました

条例」を作ろうと委員会では提案する、というお話です。
劇の後には生徒たちから様々な質問を受ける時間を設定しました。ある学校では次々と質問が寄せられ予定時間内に収まらない一幕も。
最後は投票用紙に見立てた紙に書かれたアンケートに回答、感想を記入し、本物の投票箱に入れる体験もしていただきました。
各校とも「理解できましたか？」の項目に対しては8割以上の生徒が理解できたと回答。感想文も紙面で紹介しているような素晴らしい中身がとて多く寄せられ、大きな手応えを感じたところです。
この度も教育委員会や選挙管理委員会、校長先生をはじめ教職員の皆様にご理解とご協力をいただき開催できましたことに御礼申し上げます。
これまでの内容の見直しや反省を踏まえ、参加する生徒にとってより良い時間となるように教育委員会等と話し合い、より深く、より充実した事業となるようにしていきたいと考えています。



▲模擬投票する中学生

第3回 中学校出前

～中学生の感想～

第一中学校

今日、この講演をきいて、市議会に、自分の要望を言いたいと思いました。選挙と同じように、自分たちの町をよしていくには、自分の意見をきちんと発表する、伝えるということが大切だと思いました。困ったことがあれば、伝えるようにしていきたいと思います。町が活性化がするようになり、私も、できることを考え続けたいです。

第二中学校

今まで、何度も政治のことについて、テレビで見たり、興味や関心を持っていたことはありませんでした。しかし、今回の出前授業のお話で、投票する人が少ないという現状や、市の政治の流れが分かり、政治に関わる大切さ、そのために政治についての知識を持ち、また常に疑問をもっておかなければならないことが分かり、良かったです。

第三中学校

今回の朗読劇を聞いて、普段、議員の皆さんがこんな風に会議で話し合っているんだなというのが分かりました。社会の授業で条例について習ったけど、地方とか、自分にはあまり関係ない事かなと考えていましたが、それだけでなく、身近に起こっている、しかもその条例などについて、もしかしたら、自分達の意見などが出たりするかも、しれないなと思うと、選挙権が18歳からになったの、こまからの社会についてもっと考えなければいけないなと思いました。

第四中学校

議員さんがこの歴史のある米沢をもっとよくなるためにがんばって活動してくれていると思います。とてもうれしく思います。条例や決事を真剣に考え、未来の米沢をもっとよくなるのではないかと感じます。将来は、この米沢が笑顔あふれる街になるよう期待をしています。議員に興味がわきました。がんばってください。ありがとうございました。

第五中学校

今まで、どのように条例が作られるのかよく分からなかったけど、今日の出前議会で、そのしくみがよく分かりました。他にも、米沢から総理大臣が生まれるかも、しなかったことや、戦国時代の有名な人物など、米沢に住んでいるのに知らなかったことがたくさんありました。ありがとうございました。

第六中学校

今回の中学校出前市議会に参加して、1つの条例をつくために、たくさん時間がかかっているのだと思いました。1つの条例をつくるときに、色々な人達から賛成をもらわなければならないし、分かりやすく説明しなければいけないのだと大変だと思いました。私も投票権を持っていく人、もしもことになったらこまからの米沢のために投票したいと思いました。また、議会をほうほうしてみたいと思いました。

第七中学校

この朗読劇を見て、身近なこれが「条例」だ、と知ることができました。この条例で私達の生活がより良いものになっているのは、とても良い事です。と思いました。今日の劇を見て、議員さんは、とても身近に存在するんだと思いました。

南原中学校

今日は「条例」について学びました。劇から一般市民の意見が条例にはつとめられると知っておどろきました。地酒の条例も、とてもいいと思うけれど、私は知らなかったのでもっと市民が知れるようにすればいいと思います。今日は、わががやと教えてくれてありがとうございました。

中学校出前市議会を聞いての感想を、中学生の皆さんから記入していただきました。その中の一部を掲載させていただきます。素晴らしい感想をいただきありがとうございました。

12月定例会で審議した陳情、意見書の結果は次のとおりです。

請 願

不 採 択

- ◆福島原発事故避難者への「住宅無償提供の再開」を求める意見書提出方請願（請願第6号）
（住宅支援の延長を求める会 代表 井上 肇）

意 見 書

可 決

- ◆犯罪被害者等の保護を求める意見書の提出について（発議第10号）
（内閣総理大臣、法務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長 あて）
12月定例会最終日に、議員提出の意見書1件を原案のとおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

市議会3月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 2月26日 開会(本会議きもの議会)
- 28日 代表質問
- 3月 1日 代表質問・一般質問
- 2日 一般質問
- 5日 予算特別委員会(補正予算)
- 6日 総務文教常任委員会
- 7日 民生常任委員会
- 8日 産業建設常任委員会
- 9日 予算特別委員会
- 12日 本会議(補正予算採決)
予算特別委員会
- 13日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 予算特別委員会
- 23日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は、2月19日(月)
午後5時の予定です。
日程は変更されることがあります
ので、傍聴の際は議会事務局まで
お問い合わせください。
TEL 22-5111 (内線5623・5624)

次は、「きもの議会」です。

昭和54年2月の臨時会で開催されて以来、毎年3月定例会初日には「きもの議会」を開催しており、今年はちょうど40回目の記念開催となります。

当日は、米沢繊維協議会の方にご協力いただき、着付けが行われます。



議会の 豆知識

議会図書室 運営委員会のご紹介

当市議会では、地方自治法に基づいて、議員の調査・研究に資するために「米沢市議会図書室」(以下「図書室」)を設けています。

図書室には、地方自治行政に関するものを中心とした図書、行政刊行の各種統計等、当市議会会議録、他市議会刊行物、雑誌、新聞等を収集保管しています。

委員会は、議員5名で構成され、

- (1) 購入図書の選択に関する事項
- (2) 図書室の予算に関する事項
- (3) 寄贈及び交換に関する事項
- (4) その他図書室の運営に関する事項

について協議しています。



今後も、議会図書室の充実に努めていきます。

あ と が き

今回の表紙には、米沢の味A(アップル/館山りんご)B(ビーフ/米沢牛)C(カープ/米沢鯉)のC(米沢鯉)をとりあげてみました。上杉鷹山公は冬場のタンパク源に鯉を推奨されたといわれています。

一般質問では、質問内容がわかりづらいという声もありましたので、質問の見出しを簡潔にわかりやすく表示しました。

中学校出前市議会も好評のうちに終了しました。生徒の生の声を掲載しましたのでご覧ください。

編集委員会では、毎号市民にわかりやすい議会だよりの編集に努力しています。お気づきのことなどありましたらお寄せください。

【編集委員 佐藤忠次】

○議会だより編集委員会○

委員長 我妻 徳雄
副委員長 相田 光昭
委員 佐藤 忠次
佐藤 弘司
高橋 一壽
小島 一